

月報 **みえぎよれん**

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

伊勢あさくさ海苔出品

2月6日(金)-松阪のり流通センター



2月6日(金)、松阪のり流通センターで開催された、第4回汐三重県黒のり共販にて、「伊勢あさくさ海苔」が出品された。

「伊勢あさくさ海苔」は、絶滅危惧種に指定される希少種である、アサクサノリを三重の生産者らの努力下、平成26年に養殖に成功したものである。伊勢あさくさ海苔は独特の甘味、歯切れの良さが特徴であり、外部分析機関でのDNA検査、等級検査時の食味評価などにより厳選されたものが共販に出品されている。

今シーズンは、桑名地区の生産者が養殖に取り組み、高気温・高水温の影響や食害被害を受けながらも根気強い生産が行われ、共販の結果100枚あたり18,000円で取引された。

青さのり共販初市

2月12日(木)-松阪のり流通センター



2月12日(木)、松阪のり流通センターにて、汐青さのり共販初市が開催された。

当初初市は1月29日(木)に開催予定であったが、県内生産地では生育が遅れており出品数量がまとまらず延期となっていた。

今回の初市には約23,493kgが出品され、前年同回を上回る結果となった。

(前同回: 15,617kg)

入札では、伊勢湾漁協出品の松下地区で最高値12,000円(1kgあたり)をつけるなど、活気にあふれる初市となった。



青さのりを確認するのり商社の様子

青さのり奉納

2月18日(水)-伊勢神宮・内宮



2月18日(水)、県内の青さのり生産者で構成される青さのり事業推進委員会は、伊勢神宮内宮へ今年収穫した初物の青さのりを奉納した。

当日は7名の生産者が参加し、海の恵みへ感謝、永続豊漁を祈願した。

第48回全国海水養魚シンポジウム

2月16日(月)-熊本

2月16日(月)、熊本県・熊本市にて、第48回全国海水養殖シンポジウムが熊本城ホールで開催された。三重県内からは20名を超える養殖業者等が参加をした。

国内の漁業生産額の約20%を占めている海面魚類養殖業であるが、近年の高水温による生育不良や円安水準による餌や資材の高騰により養殖業界は激震を迎えている。

その中で本シンポジウムでは、(元)水産研究・教育機構瀬戸内海区水産研究所 板倉茂氏より、「海面魚類養殖における気候変動下での赤潮対策について」の講演や、「産官学討論 養殖環境激変に立ち向かえ！」をテーマとしたパネルディスカッションが行われ、今後の養殖業の方向性について活発な議論が交わされた。

全国海の子絵画展

三重県から3名が特別賞を受賞

JF 全漁連が行っている「全国海の子絵画展」の特別賞入賞者が発表された。

各道府県から推薦された中から特別賞28点(小学校18点、中学校10点)が選出され、三重県からは小学校の部で2点、中学校の部で1点が特別賞に選ばれ、3月27日に全国表彰式で表彰される。

特別賞受賞者(三重県)

小学校の部

○日本放送協会会長賞

「大漁だ!!」

紀北町立相賀小学校6年 中井 美結

○教育美術振興会理事長賞

「海のそここかくれんぼ」

尾鷲市立向井小学校3年 中平 咲綾

中学校の部

○農林水産大臣賞

「出航の合図～願いの帆～」

紀宝町立矢淵中学校2年 前田 泰志

【主な予定】

○3月5日(木)

第31回全国青年・女性漁業者交流大会(東京)

○3月14日(土)

豊かな海伊勢湾・三河湾を考える意見交換会

(名古屋)

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。